

## 大和郡山市のまちづくりについて

尾口 五三 議員

**問** 駅周辺まちづくり、住宅新築資金等貸付金、旧土地開発公社購入土地など、大和郡山市のまちづくりについて質問しました。近鉄郡山駅とJR郡山駅周辺のまちづくりは、どのように進め、市民へ情報発信していくのか。

**答** 近鉄郡山駅周辺は、人が集まり、回遊しやすく、歩きやすいまちづくりを目指し、県・近鉄と協働で、駅舎移設を柱とする事業を進めます。今年度中に事業の枠組みについて三者協定を締結し、来年度に事業着手、概ね10年後の完成を目指します。事業内容は適時ホームページで発信し、多方面のご意見をお聞きしていきます。JR郡山駅周辺は、引き続きバリアフリー対策を進め、市民が安心かつ安全に駅周辺を利用できるように取り組みます。

## 県域水道一体化問題について

丸谷 利一 議員

**問** 最近上田市長は、当初方針である82億円といわれる本市水道の内部留保資金の全額引継ぎと南北二つの浄水場の廃止に反発して県域水道一体化に参加することを見合わせた方針から一転、一体化に参加することについて「前向きに検討する」と言明した。県からの提案のどこが市民にとって有益で急遽方針転換することになったのか。

**答** 引き継ぐ資金については、ルール化が定められ、優先配分により老朽水道管の更新率1.5%が維持されるようになりました。浄水場については、昭和浄水場が、更新存続されることとなり、防災上も有意義と考えます。さらに、水道料金も抑制される結果となっています。

・他の質問項目：行政と地域組織の連携のあり方について

## 県域水道一体化について

上田 健二 議員

**問** ①本市には、北郡山浄水場(1960年建設)と昭和浄水場(1968年建設)がありますが、県域水道一体化に参加した場合、どうなるのか。②市単独経営と県域水道一体化とは、水道料金はそれぞれどうなるのか。

**答** ①県域水道一体化に参加した場合の浄水場の扱いについて、北郡山浄水場は、令和8年度に廃止が想定されています。昭和浄水場は、更新され存続されることとなっています。②水道料金については、令和7年度からの30年間の試算では、市単独経営の場合は、令和36年度に平均単価349円/㎡となる見込です。県域水道一体化に参加した場合は、平均単価253円/㎡程度となる見込となっています。

## 切れ目のない子育て支援について

河田 和美 議員

**問** ①多胎妊産婦に対する支援の状況は？②保育士確保のための宿舍借り上げ支援制度(家賃補助)の取り組み状況は？③ディスレクシアなど学習に困り感を持つ子どもや障害に対する理解を深めるための取り組みは？

**答** ①単胎児に比べて追加で生じる妊婦健康診査費用の補助と家事支援の一部助成の2点について、実現に向け調査研究しています。②保育士確保・定着は待機児童解消の重要な課題と捉え、更に対象事業者からも利用検討の声もあることから前向きに検討してまいります。③他人との相互理解を深め協力することの大切さを実感できる学習活動をすすめ、困っていたら助けを求められる事が当たり前に行われる学校の環境づくりに取り組んでおります。

## 高齢者のフレイル予防の強化について

西村千鶴子 議員

**問** コロナ禍の外出自粛により筋力低下、低栄養、骨折など、フレイル状態の高齢者が増えています。今後要介護者を増やさない為の、フレイル予防強化の展望は？

**答** 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の中で各所属が連携し、保健事業と介護予防をより効果的に実施し、その中で栄養指導等について積極的に準備を進めてまいります。また併せて、コロナ禍であっても自宅で行えるフレイル予防運動の実践と、認知機能の低下の予防を目的に、スマートフォンを活用して、介護予防に必要な動画などの情報収集の方法や、脳のトレーニングのアプリのダウンロード方法などを学ぶ「シニア向けスマホ講座」を開講するなど、新しい介護予防策の実現を目指します。

## 聞こえの手助けが必要な子どもたちへの支援について

関本 真樹 議員

**問** まだ社会的に認知が広がっていないが聴覚情報処理障害(APD)という特性を持った子どもたちがいる。聞き取りはできるがスムーズに内容の理解ができない、小さな雑音でも聞き取りに支障が出るというもので難聴児のような支援が必要とされている。周知を強化してその特性への理解につなげ、市として補聴機器を整備して貸与するなど支援の強化が必要だと考えるがどうか。

**答** 障害の内容がますます多様化してきており、何よりも大切なのが正しい理解。一人として同じ子どもはいないという認識に立って個別具体的に寄り添いながら全ての事案について可能な範囲で柔軟に対応していきたい。

・他の質問項目：地域共生社会の実現について